

特集 Refresh! Renewal! 行こうよ、たちかわ競輪!

私たちが案内します!

ほしの 星野しほ
2000年生まれ。山崎選手の弟子。中高の先輩が競輪選手としてプロ野球の始球式に立つ姿に憧れ、この世界へ。

ましも 増茂るるこ
1991年生まれ。ガルズケイリン1期生のベテランで、通算100勝達成。1番車の白色と、定番の赤を組み合わせた「赤白カラー」の愛車に乗る。

やまさきみちる
山崎充央
1974年生まれ。通算300勝を達成した、たちかわ競輪の頼れるリーダー。若手育成にも情熱を注ぐ。

普段はにこやかな選手たちも、レースに出れば…

街の力が、走る力に 立川を愛する地元選手たち!

街との関わりを大切にしています

立川競輪場を「ホームバンク」とする地元選手は、多摩地域出身や、立川を生活圏にしている選手も多く、ホームへの愛をもって市内のさまざまな活動に参加しています。

私が所属する練習グループでは、メンバーがレースごとに1人500円を積み立て、市内保育園への寄贈を続けています。贈る絵本を1冊ずつ選び、子どもたちの笑顔に触れる交流は私にとって大切な時間です。

大変だけど楽しい!
競技にもプラスになってます

ゴミ拾い

立川駅南口周辺で定期的にゴミ拾いを実施。選手としてだけでなく、地域の一員として街の環境づくりに協力しています。

市内イベント

走る力が、街の力に
収益はまちづくりへ!

競輪は、地域を支える「公営競技」。収益の一部は市の財源となり、市民の生活に広く役立てられています。たちかわ競輪開設以来、これまで1,300億円を超える収益を一般会計に繰り入れました。

柴崎市民体育館・総合福祉センター・中央図書館の建設、ごみ処理施設や立川駅前の整備に活用されるなど、まちづくりを力強く支えています。

保育園寄贈

レースごとの積立金で、絵本や自転車を寄贈しています。園児たちは「自転車かっこいい!」「脚がとても太かった!」と大興奮。

キッチンカー

増茂選手はベビーカステラのキッチンカーを運営。イベント等で自ら焼いています。



レースだけじゃない! 施設がリニューアル! イベントも楽しむ

生まれ変わった競輪場へ!

2年超の改修を経て、リニューアル!
新しい入退場門やイベントステージも整備され、明るい空間に生まれ変わりました。大きなレース開催時はお笑いライブなどイベントも充実し、実はレース以外も楽しみが満載。

きれいになった施設でイベントも楽しみ、プロの迫力も肌で感じる。そんな新しくなった立川競輪場へ、ぜひ遊びに来てください! お待ちしています。

多彩なイベント

ステージのほかにも、選手と間近で交流できたり、自転車の面白さに触れたりするイベントを年間を通して開催。家族でお散歩感覚で足を運ぶのもおすすめです。

イベントステージ EVENT STAGE

選手が使う本物の自転車を間近で観察し、子どもたちも興味津々。

パンクを試走! 選手の気持ちになつて走れます。

最新情報は「たちかわ競輪」のホームページやInstagram、Xをチェック!

時速70kmの真剣勝負!

とにかくレースが熱い!

全身で感じる圧倒的迫力

競輪は脚力に加え、風や位置取りを読む「知性」も試されるスポーツ。特に風が強い立川競輪場はその読み合いが激しく、終盤の逆戻劇が見どころです。バンクとの距離が近く、タイヤの音や風圧まで全身で感じられます。

ホーム戦は知恵がかかるほど緊張感がありますが、その重圧こそが私の力。男子は時速70kmで走ることも。その迫力をぜひ生で体感してください!



たちかわ競輪の1年はここから始まる 鳳凰賞典レース

1月4日(日)~7日(水)

今年度のたちかわ競輪で最高グレードとなる「GⅢ」開催! 全選手中で9人しかいないトップランク「S級S班」も複数参戦します。最高峰の技とスピードがぶつかる4日間です。

イベント情報は9面へ



「正門」から「メインゲート」に名称を変え、木目調のおしゃれな入り口に!



キッズルームや給湯室、おむつ交換室もあり、お子さん連れでも安心



「人間ってこんなに速く走れるの?」限極のスピードを体感して!



一緒に熱くなれる「推し選手」を見つけてね

入場無料でどなたでも気軽に入れます!

アクセス 立川競輪場(曙町3-32-5)JR立川駅北口から徒歩15分。開催日には、多摩モノレール立川北駅と玉川上水駅から無料バスを運行しています。

SNS X(@TachikawaKEIRIN)やInstagram(@tachikawa_keirin)も更新中!

